

令和5年度事業報告書

5年度事業のポイント

➤ 尼崎市との災害時等応急対策業務に関する協定の締結

令和5年4月1日付で、尼崎市との間で「災害時等における応急対策業務に関する協定」を締結した。その後、この協定に基づいて8月に発生した台風7号による街路樹や公園樹の倒木処理を実施し、市民の安全確保に努めた。

➤ あまがさきグリーンフェスタ 2023 の開催

緑化普及啓発の一環として長年に亘り開催してきた恒例行事「春の花と緑のフェスティバル」を、新型コロナウイルスによる中断期間を経て4年ぶりに再開した。

再開にあたり、子育て世代に緑や自然にふれあう機会を提供することに一層重点を置くため、これまでの賑わい創出型のイベントから、各種講座や教室を中心とした「体験・参加型のイベント」にコンセプトを変更し、名称も「あまがさきグリーンフェスタ」と改めて開催した結果、ファミリー世帯の参加者の増加が図られた。

➤ あまがさき薔薇マップ ～自分好みのバラを探してみませんか～ の制作

尼崎の魅力を市内外に広く発信するため、昨年度のサクラマップに続いて、市内にある7カ所のバラ園を紹介する冊子「あまがさき薔薇マップ～自分好みのバラを探してみませんか～」を制作した。

なお、この冊子は令和6年春のバラの開花期に広く市民等に配布するとともに、バラ関連の行事等も併せて開催する計画としている。



➤ 天才植物学者牧野富太郎にまつわる行事の開催

NHK連続テレビ小説「らんまん」のモデルで、日本の植物分類学の父と称される天才植物学者“牧野富太郎博士”を取り上げた特別展や講演会を、上坂部西公園（尼崎市都市緑化植物園）において開催し、タイムリーな企画として注目を集めた。



【事業活動部門】

◆ 公益目的事業

 … 中高年からの移管
 … 新規・見直し事業

I 公益1事業〔定款事業(1)〕

(緑化普及啓発フィールド公園などを活用した普及啓発、利用促進並びに都市環境緑化の推進事業)

《管理施設》

・緑化普及啓発フィールド公園

| 名 称 | フィールドの特徴 |
|------------------------|---------------------------|
| 上坂部西公園 (尼崎市都市緑化植物園) | 都市緑化植物園；花と緑の学習空間 |
| 元浜緑地 | キッズランド；子ども達の遊びと学び |
| 大井戸公園 | ローズガーデン；バラを通じてのボランティア活動空間 |
| 近松公園 | 日本庭園風公園；植物と文化の歴史空間 |
| 宮内公園 | 梅と茶室のある公園；観梅茶会 |
| 祇園橋緑地 | 緑の散歩道 |
| 蓬川緑地バラ園 | 川岸のバラ園 |

・その他の公園緑地

| 名 称 | フィールドの特徴 |
|------------|---------------------|
| 西武庫公園 | サクラ、分区園、利用団体のネットワーク |
| 県立尼崎の森中央緑地 | 参画と協働による生物多様性の森づくり |

1 緑の相談所及び緑化普及啓発フィールド公園事業

(1) フィールド公園の魅力向上の取り組み

① 「牧野富太郎 特別企画」の開催

 新

日本の植物分類学の父と言われ、本年度に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルとなった植物学者「牧野富太郎博士」にスポットをあて、博士の人となりやその功績などを紹介する催しを上坂部西公園で開催した。

開催にあたっては、全国の植物園と連携強化を図り、(公財)高知県牧野記念財団から展示物のデータの無償提供を受けるなど、植物園の強みを活かすとともに、高知県で開催された(公社)日本植物園協会の総会に職員を派遣し、現地での情報収集や牧野植物の調達を行うなど、総力を挙げて取り組んだ。更に、朝ドラの放送効果や日刊紙などにも取り上げられたことなども相まって、他市からも含めて多くの方に来園いただき、大盛況のうちに終えることができた。

・牧野富太郎特別企画 事業一覧表

| 開催日 | 事業名 | 開催場所 | 来場者数 | 内 容 |
|----------|-------------------------------|------|------|---|
| 常設 | パネル展「牧野富太郎ってどんな人？」 | 相談所 | 一名 | 牧野富太郎博士の生い立ち、業績、年表などを記したパネルの展示 |
| 6/10～7/2 | 展示会「植物学者 牧野富太郎の軌跡」 | 展示施設 | 901名 | 博士の人となりやその功績などを紹介するパネルや写真、博士にゆかりのある植物等を展示 |
| 6/25 | 講演会「牧野富太郎ってどんな人～関西での活動と仲間たち～」 | 講習会室 | 28名 | 鈴木武氏（県立人と自然の博物館）を講師に迎え、博士の関西での活動を中心にエピソード等を交えて紹介 |
| 常設 | 牧野プランツの紹介 | 園内 | 一名 | 博士が命名したものなど、園内にある博士ゆかりの植物にラベルを設置し、来園者が楽しみながら植物園内を回遊 |
| 7/23 | みどりの学校「親と子の植物画教室」 | 講習会室 | 22名 | 小学生以下の子と保護者を対象に、植物をよく観察して絵を描く講座 |



(展示会「牧野富太郎の軌跡」)



(講演会「牧野富太郎ってどんな人」)



(親と子の植物画教室)

② 自然を活用した事業

フィールド公園内の花や生物などの自然とふれあう催しを実施し、市民の方々に公園へ足を運んでいただいで、花と緑がもたらす効用や、生物多様性を考える機会を創出した。

・フィールド公園内の自然を活用した事業一覧表

| 開催日 | 事業名 | 開催場所 | 参加者数 | 内 容 |
|--------|----------------|--------|------|-----------------------|
| 5月8日 | 季節の花散策～アヤメ～ | 近松公園 | 16名 | 園内を散策しながらアヤメの話と観察 |
| 5月27日 | 植物園ガイド | 上坂部西公園 | 21名 | 園内の見ごろの植物の案内 |
| 6月3日 | 健康ウォーキング教室 | 上坂部西公園 | 14名 | 公園を活用した正しい歩き方による健康増進 |
| 6月11日 | 季節の花散策～アジサイ～ | 元浜緑地 | 雨天中止 | 見ごろのアジサイをガイド付きで見学 |
| 10月28日 | 植物園ガイド | 上坂部西公園 | 22名 | 園内の見ごろの植物の案内 |
| 11月5日 | 季節の花散策～バラ～(2回) | 大井戸公園 | 95名 | 解説を聞きながらバラ園を散策 |
| 1月7日 | 新春野鳥観察会 | 上坂部西公園 | 11名 | 解説を聞きながら園内の野鳥を観察 |
| 1月21日 | バラを育てよう | 上坂部西公園 | 20名 | バラ園でのバラの栽培方法の解説と実技講習 |
| 2月18日 | 季節の花散策～梅花～ | 宮内公園 | 42名 | 園内を散策しながらウメの話と観察 |
| 3月23日 | 植物園ガイド | 上坂部西公園 | 4名 | 園内の見ごろの植物の案内(雨天のため座学) |
| 合 計 | | 10回開催 | 245名 | |



(上坂部西公園での植物園ガイド)



(上坂部西公園でのウォーキング教室)



(宮内公園でのウメ散策)

③ “みどりの学校” 開校

日頃緑に関わる機会が比較的少ない若い世代が、緑にふれあうきっかけづくりの場として、子育て世帯の親子を対象とした体験型の教室である「みどりの学校」を開校した。今年度は、これまでの小学校の夏休み期間からその他の時期にも増やして、子育て世代に自然とのふれあいや植物を育てる楽しさを伝えるとともに、夏休みの宿題にも活用できる実益を兼ねた学習の場を提供した。

・子ども向け体験教室（みどりの学校）（受託事業）の開催状況

| 開催日 | 事業名 | 開催場所 | 回数 | 参加者数 |
|--------|---------------------------|--------|-----|------|
| 4月8日 | 草花あそび | 上坂部西公園 | 1回 | 42名 |
| 6月10日 | 伝統のキクを育ててみよう！ | 上坂部西公園 | 1回 | 7名 |
| 7月22日 | タネだんごづくり | 上坂部西公園 | 1回 | 14名 |
| 7月23日 | 親子の植物画教室（再掲） | 上坂部西公園 | 1回 | 22名 |
| 7月23日 | セミ羽化観察会 | 西武庫公園 | 1回 | 49名 |
| 7月29日 | 園内の川で生きもの探し | 上坂部西公園 | 2回 | 69名 |
| 7月30日 | 小さな小さな虫さがし&吸虫管作り | 上坂部西公園 | 1回 | 26名 |
| 8月5日 | 竹の水てっぽう作り | 上坂部西公園 | 1回 | 30名 |
| 8月6日 | 多肉植物の寄せ植え | 上坂部西公園 | 2回 | 28名 |
| 12月9日 | こども寄せ植え体験 | 上坂部西公園 | 1回 | 20名 |
| 12月16日 | 冬の昆虫観察会～ゴマダラチョウの幼虫を見つけよう～ | 上坂部西公園 | 1回 | 18名 |
| 合 計 | | | 13回 | 325名 |



(草花あそび)



(セミ羽化観察会)



(竹の水てっぽう作り)

④ “草木遊び塾” 開校

子どもたちが緑や自然とふれあえる場の提供を目的として、子育て世帯の親子を対象に昨年度から始めた「草木遊び塾」を、本年度も上坂部西公園で月1回、定期的に開催した。この教室は、木の枝やどんぐりの実などを使って自由な発想で工作を楽しむことができる体験型の講座で、参加者が増加している。



(草木遊び塾の様子)

・草木遊び塾の参加者数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 人数 | 60 | 60 | 26 | 32 | 3 | 47 | 50 | 68 | 55 | 41 | 25 | 20 | 487 |

⑤ “絶滅危惧植物” の保護

上坂部西公園では、これまで、植物園の使命である絶滅危惧植物の保護のため、市内の水路で保護した兵庫県絶滅危惧種Aランクのシダ植物「デンジソウ」、小笠原諸島のみで自生する国指定の絶滅危惧類「オガサワラグワ」、絶滅危惧2類の「リュウケツジュ（竜血樹）」、武庫川河川敷で見つかった兵庫県絶滅危惧種Bランク「カワラサイコ」などの譲渡を受けて、保護の取り組みを行っている。

当園では、これらの他にもヒメバラモミやジュラシックツリー、ジャカランダ、サボテン類など約75種の国内外の絶滅危惧植物を保存、展示しており、日本植物園協会加盟園として絶滅危惧植物の保有状況調査及びリスト作成や「絶滅のおそれのある野生植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に抵触する植物の保管を行うなど、植物多様性保全に重点を置いた取り組みを行っている。



(カワラサイコ)



(ジャカランダ)



(リュウケツジュ)

⑥ 尼崎市未来いまカラダポイント制度への協賛

尼崎市が実施する「未来いまカラダポイント制度」に協賛し、公園での除草作業など当協会が指定するボランティア活動や講習会の参加者に、継続特典チケットとあま咲きコイン（SDGsポイント）を付与するとともに、継続特典チケットの景品として「花とみどりのギフト券」と引き換えるサービスを提供した。

(2) ボランティアとの協働の取り組み

市民等が主体となって進めるみどりの活動を推進するため、本年度も、上坂部西公園をはじめとする緑化普及啓発フィールドの基幹公園で立ち上げた公園ボランティアグループと共に、市民協働の公園運営に取り組んだ。

① グリーンヘルパーとの協働の取り組み

花と緑に関する学習や研究に取り組む市民ボランティアグループ「尼崎市都市緑化植物園グリーンヘルパー」の皆さんが、当協会との連携のもと、上坂部西公園を拠点に月2回の定例活動などを実施した。

- ・登録人数 19名
- ・定例活動日 毎月第2・4土曜日（定例日以外にも日常的に作業を多数実施）
- ・活動内容 本年度も、公園内の一部の花壇の植替えや管理、植物園ガイドなどの活動に取り組んだ他、兵庫県が小学3年生を対象に実施する環境体験学習にサポーターとして登録し、13校35クラス1,091人の生徒を受け入れて上坂部西公園の植物観察会を行うなど、工夫を凝らした質の高い活動を実施した。



(樹木スタンプラリー)



(夜の植物園ガイド)



(小学生対象の環境体験学習)

② ローズAMA（大井戸公園）とのバラ栽培管理の取り組み

大井戸公園において、バラを美しく咲かせるための栽培管理のボランティア活動を実施した。たくさんのバラが咲き誇る当公園のバラ管理に欠かせないグループとして、大変手間が掛かるバラ管理作業に活発に取り組んだ。

- ・登録人数 30名
- ・定例活動日 毎月第1木曜日
(上記以外にも日常的に作業を実施)
- ・活動内容 花がら摘み、除草、施肥など季節に応じたバラの栽培管理作業を実施した。



(ローズAMAの作業風景)

③ 近松公園アヤメクラブのアヤメ園整備の取り組み

アヤメ園の除草や枯れた花の刈り取り、アヤメの補植等を行って景観を整えるなど、各種整備に取り組んだ。

- ・登録人数 8名
- ・定例活動日 毎月第2水曜日
- ・活動内容 除草や施肥、薬剤散布、株分け等の管理作業を実施した。



(アヤメクラブの活動の様子)

④ 元浜緑地アジサイクラブの株数増加などの取り組み

踏圧などで衰退していたもみじ池周辺のアジサイを再生させるため、挿し木したものを育成して植え付け、花数の増加に取り組んだほか、除草や清掃など、幅広い活動を実施した。

- ・登録人数 6名
- ・定例活動日 毎月第2木曜日
- ・活動内容 アジサイ園の落ち葉清掃、除草、灌水、剪定などの維持管理作業、挿し木や補植などの増殖作業等を実施した。



(アジサイクラブの活動の様子)

⑤ ローズAMA（潮江公園）とのバラ栽培管理の取り組み

昨年度に新たに立ち上げたバラ栽培管理ボランティアグループで、たくさんのバラが咲き誇る当公園のバラ管理に欠かせないグループとして、大変手間が掛かるバラ管理作業に活発に取り組んだ。

- ・登録人数 13名
- ・定例活動日 毎月第3木曜日
- ・活動内容 花がら摘み、除草、施肥など季節に応じたバラの栽培管理作業を実施した。



(ローズAMAの作業風景)

(3) 仕事体験等の受け入れ

兵庫県が中学2年生を対象に職場体験として実施している「トライやるウィーク」の他、障がい者の方々の方々の“しごと”との接点拡充のために取り組んでいる「障がい者しごと体験事業」、生活困窮者等就労準備支援としての職業体験などを上坂部西公園で受け入れ、緑化普及の立場からの社会貢献事業に取り組んだ。

| 事業名称 | 回数等 | 受入人数 |
|---------------|---------|------|
| 中学生のトライやるウィーク | 4校 | 12人 |
| 障がい者しごと体験事業 | 1回(2日) | 1人 |
| 生活困窮者等職業体験 | 1回(1ヶ月) | 1人 |
| 合計 | | 14人 |

(4) 講習会事業



緑の相談所での園芸等の講習会は、コロナ禍以降の生活様式の変更を背景に園芸に関する注目が集まる中、自宅で楽しめるインドアグリーンやベランダ園芸、しめ縄作りなど時宜にかなった講習を開いた他、社会人の参加機会を増やすための通勤帰宅時間に合わせた講習会、初心者向けのガーデニング体験の講座、皐月、小品盆栽等伝統園芸の管理方法を学ぶ教室など、多様な視点からすそ野の広いメニューを企画し、市民の方々に提供した。

また、緑に関わる人のすそ野を広げるため、植物に関する学びの観点に「国際交流・理解」を加えた講習会「世界の植物と暮らし」シリーズを生涯学習プラザにも出向いて計7回開催したほか、より多くの市民に緑に関心を持ってもらうため、当該シリーズのエッセンスを詰め込んだ出前講習会を各生涯学習プラザやサマーセミナーで開催するなど、市から指定された17講座と職員自ら企画した43講座を実施した。

緑の相談所などにおける講習会開催状況

・上坂部西公園緑の相談所での一般講習会の開催状況

| 開催日 | 講習会名 | 参加者 | 内容 |
|--------|--------------------|------|------------------------|
| 6月17日 | 食を彩るハーブの寄せ植え | 15名 | 自宅で安心ハーブを育てて料理に活用しよう |
| 6月25日 | 牧野富太郎ってどんな人(再掲) | 28名 | 博士の関西での活動を中心に講演 |
| 6月30日 | 多肉植物の寄せ植え体験(ナイト講座) | 12名 | 珍しい多肉植物を盛り沢山に寄せ植え作り |
| 7月9日 | ベランダで果樹を育てよう | 14名 | イチジクの育て方と植付け |
| 7月15日 | ハイドロカルチャー(自主) | 15名 | ハイドロカルチャーを使った観葉植物の寄せ植え |
| 7月29日 | 夜の植物園(温室)ガイド | 13名 | 温室展示会開催中の植物を中心に紹介 |
| 10月15日 | ハロウィン★フラワーアレンジメント | 14名 | ハロウィンテイストのフラワーアレンジメント |
| 12月10日 | クリスマスリース作り | 20名 | 木の実やコニファーを使ったクリスマスリース |
| 12月15日 | 季節の寄せ植え作り | 15名 | お正月を飾る寄せ植え作り |
| 12月17日 | しめ縄作り(2回) | 45名 | 藁を編んでオリジナルのしめ縄作り |
| 2月25日 | クリスマスローズの育て方 | 17名 | 花の解説と栽培ポイント、植付け実習など |
| | 合計 | 208名 | |



(多肉植物の寄せ植え体験)



(ハウイン・フラワーアレンジメント)



(しめ縄づくり講習会)

・「世界の植物と暮らしシリーズ」講習会の開催状況

| 開催日 | 国名 | 講師名 | 開催場所 | 参加者数 | 内 容 |
|--------|---------|---------------------|-----------------|------|---------------------------|
| 4月16日 | イギリス | ジェイムズ・ライブニック氏 | 上坂部西公園 緑の相談所 | 22名 | イギリスの庭園事情やアフタヌーンティーの体験など |
| 6月18日 | アメリカ | アーサー・ジェームス氏 | 武庫西生涯 学習プラザ | 16名 | 気候、植生の紹介とカリフォルニアピザの調理実習 |
| 7月30日 | ベトナム | ドティ・タン・フェン氏 | 上坂部西公園 緑の相談所 | 18名 | 植物や文化の紹介、温室でマンゴー見学、料理の試食 |
| 10月22日 | ブラジル | 演奏者 藤井拓氏ほか | 上坂部西公園 緑の相談所 | 20名 | 自然や環境の紹介、ボサノバ音楽の演奏とマテ茶試飲 |
| 11月19日 | オーストラリア | 景観デザイナー デビッド・ヘイ氏 | 上坂部西公園 緑の相談所 | 16名 | オーストラリアとzoomで繋ぎ植物や文化などを紹介 |
| 12月17日 | タイ | 中島ネティカン氏 | 中央北生涯 学習プラザ | 22名 | タイの植物や文化の話と、タイカレー作り |
| 2月18日 | ガーナ | オセイ・オフエリア氏 | 園田東生涯 学習プラザ | 16名 | ガーナの植物や文化の話と、ガーナの郷土料理作り |
| 合 計 | | | 7回開催 | 130名 | |



(イギリス編)



(ブラジル編)



(ガーナ編)

・プラザなどでの出張講習会(世界の植物と暮らし)の開催状況

| 開催日 | 事業名 | 開催場所 | 参加者数 |
|--------|-------------|------------|------|
| 7月20日 | あまがさき市民大学 | 小田南生涯学習プラザ | 23名 |
| 8月6日 | みんなのサマーセミナー | 尼崎市立尼崎高等学校 | 32名 |
| 9月28日 | あまがさき市民大学 | 武庫西生涯学習プラザ | 30名 |
| 10月19日 | あまがさき市民大学 | 立花南生涯学習プラザ | 23名 |
| 11月1日 | あまがさき市民大学 | 大庄南生涯学習プラザ | 14名 |
| 11月7日 | あまがさき市民大学 | 中央北生涯学習プラザ | 41名 |
| 11月28日 | あまがさき市民大学 | 園田東生涯学習プラザ | 23名 |
| 合 計 | | 7回開催 | 186名 |



(あまがさき市民大学)



(みんなのサマーセミナー)

・上坂部西公園緑の相談所での一般講習会の開催状況

| 講習会名 / 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | | | | | | | | | | | | | | 回数 | 人数 |
| 菊作り | | 14 | 15 | 16 | 11 | | 9 | | | | | | 10 | 6 | 75 |
| 洋ラン | | 11 | 15 | 8 | | | | | | | | | | 3 | 34 |
| 臯月盆栽 | | 10 | 12 | 10 | 10 | | 7 | 9 | 12 | 14 | 8 | 12 | 13 | 11 | 117 |
| 小品盆栽 | | 20 | 14 | 16 | 20 | 16 | 18 | 15 | 15 | 20 | 16 | 14 | 14 | 12 | 198 |
| 計 | 回数 | 4 | 4 | 4 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 32 | — |
| | 人数 | 55 | 56 | 50 | 41 | 16 | 34 | 24 | 27 | 34 | 24 | 26 | 37 | — | 424 |



(菊作り講習会)



(臯月盆栽講習会)



(小品盆栽講習会)

・体験型花壇講習の開催状況

| 講習会名 / 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | |
|----------|----|---|----|---|---|---|----|----|----|----|---|---|---|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | 回数 | 人数 |
| 上坂部西公園 | | | 12 | | | | 13 | | 12 | | | | | 3 | 37 |
| 西武庫公園 | | | 8 | | | | 8 | | 7 | | | | | 3 | 23 |
| 計 | 回数 | | 2 | | | | 2 | | 2 | | | | | 6 | — |
| | 人数 | | 20 | | | | 21 | | 19 | | | | | — | 60 |



(上坂部西公園での講習の様子)



(西武庫公園での講習の様子)

・依頼講習会の開催状況

| 講習会名 / 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | |
|-------------------|----|---|----|---|---|---|----|----|----|---|----|---|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | 回数 | 人数 |
| 阪神シニアカレッジ | | | 31 | | | | | | | | | | 1 | 31 |
| コミュニティールーム武庫運営委員会 | | | | | | | | | 10 | | | | 1 | 10 |
| 三菱電機株式会社 | | | | | | | | | | | 24 | | 1 | 24 |
| 園田地域課 | | | | | | | | | | | 14 | | 1 | 14 |
| 計 | 回数 | | 1 | | | | | | 1 | | 2 | | 4 | — |
| | 人数 | | 31 | | | | | | 10 | | 38 | | — | 79 |

(5) 展示会事業

花や緑に関連する各種展示会について、温室では育成・展示している貴重な植物を活かした企画展示、展示施設では市民団体等の発表の場としての展示と、施設の特徴に応じて使い分け、また市から指定されている展示会に加えて協会職員自らが企画した展示会も多数実施し、多彩な内容で、花・緑の素晴らしさを広く発信した。

・展示会（温室）の開催状況

| 展示会名 | 開催期間 | 場所 | 内容 | 来場数 |
|-----------------------|-----------|----|---------------------------|--------|
| ペゴニア展 | 4/23～5/7 | 温室 | 色とりどり、様々なタイプのペゴニアを約200鉢展示 | 2,470人 |
| 夜咲く香る植物展 | 7/28～7/31 | 温室 | 夜に咲き香る特徴を持つ熱帯、亜熱帯植物の紹介 | 549人 |
| 延べ開催日数 19日 来場数 3,019人 | | | | |



(ペゴニア展)



(夜咲く香る植物展 (ヤコボク))

・展示会（展示施設）の開催状況

| 展示会名 | 開催期間 | 内容 | 来場数 |
|--|-----------|--------------------------------------|------|
| あまがさき桜マップ 発刊記念ミニ写真展 | 4/1～4/9 | あまがさき桜マップ発刊を記念して市内の素晴らしい桜の名所の紹介写真を展示 | — |
| アートフラワー展 | 4/7～4/16 | 布やワイヤーを使って本物同様の造花を展示 | 359人 |
| 小品盆栽と山野草展 | 4/21～4/23 | 尼崎小品盆栽山草会会員が育てた風情あふれる小品盆栽や山野草を展示 | 297人 |
| 2022 あまがさきフラワー ガーデニングコンテスト 入賞花壇写真展 | 4/29～5/7 | 各部門の入賞花壇の写真を展示 | 238人 |

| 展示会名 | 開催期間 | 内 容 | 来場数 |
|---|-------------|--|-------|
| 家中緑自慢写真展 | 4/29～5/7 | 家の中の緑自慢を応募した方の写真展 | - |
| みどりとやきもの展 | 5/12～5/15 | 「やきもの」に植物を添えた作品を展示 | 286 人 |
| 小品盆栽とうつわ展 | 5/26～5/28 | 小品盆栽とうつわを展示 | 256 人 |
| やまとうた Logos 展 I AM 帰還に向かって! | 6/2～6/4 | 歌、書、和紙、植物の展示 | 169 人 |
| 植物学者「牧野富太郎」の軌跡（再掲） | 6/10～7/2 | 日本の植物分類学の父とされる牧野富太郎に関する展示 | 901 人 |
| 涼を呼ぶハイドロカルチャー展 | 7/7～7/9 | ガラス容器の中に植物を植え付けて楽しむ展示 | 82 人 |
| 子ども写真展 | 7/22～7/30 | 上坂部西公園で子どもが自由に撮った写真を自由に展示する展示会 | 112 人 |
| みどりの学校おさらい 自由研究のヒント!展 | 8/12～8/27 | 今夏に開催したみどりの学校の復習や夏休みの自由研究のヒントを展示 | 186 人 |
| 地球環境世界児童画 コンテスト作品展 | 9/2～9/14 | 環境をテーマにした児童絵画コンクールの受賞作品を展示 | 144 人 |
| いろどりマルシェ | 9/29～9/30 | 「あまままマルシェ」などで活躍する若いママが中心のアーティスト達の作品展示会 | 248 人 |
| 秋の游鉢展 | 10/6～10/8 | ヤシガラ繊維を使った手作りの鉢に秋の植物を植え込んだ作品を展示 | 82 人 |
| 小品盆栽と山野草展 | 10/20～10/22 | 尼崎小品盆栽山草会会員が育てた風情あふれる小品盆栽や山野草を展示 | 329 人 |
| 秋季さつき樹形展 | 10/27～10/29 | 尼崎阜月協会会員が育てた阜月盆栽を展示 | 189 人 |
| みどりとやきもの展 | 11/3～11/6 | 「やきもの」に植物を添えた作品を展示 | 317 人 |
| 四季の花と緑のスケッチ展 | 11/11～11/12 | 水彩スケッチ画とハガキ絵の展示会 | 147 人 |
| みんなでつくる!あそぶ!森展 | 11/23～11/29 | 秋の森を表現した作品やあこや学園の園児作品を展示 | 446 人 |
| 秋の洋ラン展 | 12/1～12/3 | 尼崎洋ラン会会員が育てた洋ランを展示 | 332 人 |
| しめ縄と木っ端細工展 | 12/8～12/17 | しめ縄など迎春に飾れる様々な飾りや木っ端から創作した作品の展示 | 189 人 |
| 鳥・とり・トリ展 | 1/6～1/21 | 野鳥パネルと上坂部西公園で四季折々撮影した写真の展示会 | 449 人 |
| 市民の洋ラン展 | 2/2～2/4 | 尼崎洋ラン会会員が育てたランを展示 | 338 人 |
| 動植物に誇る | 2/16～2/18 | 歌集・絵本製作、土/陶・緑/苔玉・墨/書・紙/和紙それぞれ手作りの作品の展示 | 202 人 |
| クリスマスローズ展 | 2/22～2/25 | 原種と交配種のクリスマスローズを約 100 点展示 | 343 人 |
| 吹きガラスとハイドロカルチャー作品展 | 3/1～3/3 | 吹きガラス作品とハイドロカルチャー作品展 | 168 人 |
| あまがさき桜展 | 3/8～3/17 | 市内に咲くさまざまな桜の紹介写真の展示会 | 389 人 |
| 春の椿展 | 3/23～3/24 | 春に咲く椿を展示 | 83 人 |
| ようこそボーイスカウト展 | 3/30～3/31 | 園芸や生活に欠かせないロープワーク方法を解説展示 | 195 人 |
| 受託事業 6 回 自主事業 24 回 合計 30 回 延べ開催日数 194 日 来場数 7,476 人 | | | |



(自由研究のヒント！展)



(クリスマスローズ展)



(あまがさき桜展)

(6) 緑の相談業務

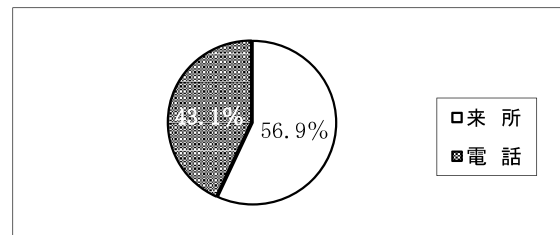
上坂部西公園緑の相談所において、当協会園芸相談員等の専門家を配し、緑化園芸相談を年間を通して実施した。相談にあたっては、相談者のレベルに応じたわかりやすい説明に留意するなど、多様なニーズに的確に応えるよう努めた。

① 相談所利用状況

来所・電話別

| 来 所 | 電 話 | 合 計 |
|-------|-------|-------|
| 1,475 | 1,117 | 2,592 |
| 56.9% | 43.1% | 100% |

※1人当たり複数の内容の相談を受ける場合があるため、年間の相談件数は4,511件にのぼる



② 主な相談内容

草花や野菜、果樹等の育成方法や樹木の手入れ、病虫害の防除、土づくり、植物の分類など多岐に亘り、ビギナーから上級者まで丁寧に対応した。

(7) 2023あまがさきフラワーガーデニングコンテストの開催

市民の方々などが手掛けた自慢の花壇を、家庭・コミュニティ・学校緑化の3部門で募集して専門家が顕彰する当コンテストを本年度も実施し、まちの魅力を内外に発信するとともに、技術向上の一助とした。また、併せて、近年の住宅事情の変化により当コンテストの応募件数が伸び悩んでいることから、新たな部門の設置に向けた検証を行うため、近年人気の家の中やベランダなどのインドアグリーンを対象に、「家（うち）中（なか）緑（みどり）自慢写真」の応募を昨年度に引き続いて試行した。

- ・ 募集期間 令和5年5月1日（月）～11月30日（木）
- ・ 審査日 令和6年1月23日（火）
- ・ 応募総数 21件
- ・ 入賞花壇数 10件（家庭緑化部門2件、コミュニティ緑化部門2件、学校緑化部門2件、緑化公園協会特別賞4件）

・各部門の入賞花壇



(家庭緑化部門【最優秀】)



(コミュニティ緑化部門【最優秀】)



(学校緑化部門【最優秀】)

(8) ローズアマガサキ事業

園芸研究家の藤岡友宏氏が交配・作出し、市制100周年である2016年に新品種のバラ10種の中から市民投票により決定された尼崎市のオリジナルローズである「ローズアマガサキ2016」を、各種講習会や公園内への掲示、HPでの紹介などを通じて広く広報に努めた。

また、同バラのPRのため、新たに蓬川緑地バラ園に同バラを植栽した。



(ローズアマガサキ2016)

(9) 花・緑情報の発信

① 緑の相談所での情報発信

緑の相談所では、市民が花や緑について自由に学習及び情報収集ができるように、特に、子育て世代をターゲットとした絵本や子ども向けの図書を増冊して、学べる空間を提供した。



(学習空間の整備)

② 緑の相談所だよりの発行



年4回の四季発行で、季節ごとのトピックや催し等の広報を中心に、話題の植物や希少な植物の情報、ガーデニングのアドバイスなど、幅広く興味を持たれるような紙面構成を心掛け、読者層の拡大に努めた。

本年度は新しい試みとして、春号から冬号までの全4回、バラをテーマにその特性や季節の管理方法などを特集し、バラの魅力を多くの市民に発信した。



(緑の相談所だよりの)

- ・発行部数 各号3,000部(年間12,000部)
- ・主な配布先 本市緑の相談所、本庁、支所、公共施設、金融機関の待合等で市民配布。また学校、近隣市の緑の相談所、賛助会員及び花いっぱい会の会々に送付

③ ホームページによる情報発信

尼崎中高年事業(株) (以下「会社」という。)との統合を機にリニューアルしたホームページを活用して、市民が最も知りたい公園情報、ボランティア活動の募集案内、四季折々の植物紹介や開花情報、イベント情報や講習会・展示会の案内等のタイムリーな情報を提供した。



(当協会ホームページ)

・HPの発信回数とアクセス数

| 年度 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 |
|---------------|----------|----------|----------|-----------|
| 情報発信回数 | 92 回 | 288 回 | 484 回 | 551 回 |
| HP 訪問数(アクセス数) | 43,692 回 | 70,855 回 | 88,764 回 | 100,226 回 |

④ SNSを活用した情報発信



尼崎市と共同で運営しているフェイスブック「アマグリ」を活用して公園での花や緑の見頃情報や、緑化行事の紹介などをリアルタイムで発信し、ネットワークでつながるユーザーや当協会事業への関わりが比較的少ない若者世代への情報提供を積極的に行った。



(FB (アマグリ))

また、新たな情報発信ツールとして、協会公式インスタグラムを立ち上げ、本格的に運用を始めた。

・SNSの情報発信回数

| | |
|------------------|-------|
| F B 情報発信回数 | 293 回 |
| Instagram 情報発信回数 | 289 回 |



(協会公式 Instagram)

⑤ 観光情報施設等からの情報発信

阪神尼崎駅前にある観光案内所(旧中央公園パークセンター)やJR尼崎駅構内にある観光案内コーナー、尼崎北郵便局などに公園パンフレットや緑の相談所だより等の印刷物を提供し、幅広い層に向けて緑化情報を発信した。



(あまがさき観光案内所)

⑥ 記念公園総合体育館への広告看板の掲示

体育館利用者等に対して、協会のPRと緑への興味をもってもらうため、5年度も引き続き、尼崎市記念公園ベイコム総合体育館に広告看板を掲示した。



(体育館に設置した広告看板)

⑦ **バラ園サイン整備** 新

会社との事業統合のシンボル事業として取り組むバラ園リニューアルプロジェクトは、一昨年度の潮江公園、昨年度の大井戸公園に続いて、上坂部西公園バラ園の品種ラベルの整備を行い、中期計画に掲げる「まちの魅力となる緑の情報発信」の強化を図った。



(上坂部西公園のバララベル)

(10) **園地維持管理業務**

フィールド公園等の園地部分の清掃、除草、かん水をはじめとする保護育成、花壇の維持管理や流れ等の施設管理業務を実施することに加えて、見通し確保のための低木の切下げや高木の下枝剪定、危険木の剪定等を行った。



(公園外周の剪定作業)

(11) **施設管理業務**

① **元浜緑地わんぱく池運営管理業務**

コロナ禍のため、令和2・3年度の中止、4年度の人数制限の上での開園を経て、今年度は感染症の分類が「5類」となったため人数制限は行わず開園し、厳しい暑さも反映して多くの子どもたちで賑わった。



(わんぱく池の様子)

・[開園期間 6月4日(日)～9月3日(日)]

| 開場日数 | 利用者数 | 1日平均利用者数 | 最高利用者数 |
|------|---------|----------|--------------------|
| 80日 | 58,263人 | 728人 | 2,922人[7月17日(月・祝)] |

② **元浜緑地駐車場管理運営業務**

元浜緑地駐車場の管理運営業務を受託し、公園利用者の利便を図った。

| 開場日数 | 普通車入庫数 | 大型車入庫数 | 総入庫数 | 1日平均入庫数 |
|------|---------|--------|---------|---------|
| 360日 | 21,658台 | 50台 | 21,708台 | 60台 |

③ その他施設管理

上坂部西公園緑の相談所や元浜緑地管理棟の電気点検、消火器点検等の施設管理業務を法令等に基づき、適正に実施した。

一部の老朽化した設備については、不具合箇所を速やかに市に報告し、計画的な更新を要請した。

(12) 公園管理に関するその他の取り組み（循環型社会形成への貢献）

① 剪定枝のチップ化によるリサイクル

当協会が所有する大型樹木粉碎機（ウッドチップパー）を活用して、剪定の際に発生する枝等を焼却処分せずチップ化して再利用する取り組みを行い、二酸化炭素排出量の抑制に努めた。

本年度は、尼崎の森中央緑地での管理作業において発生した剪定枝や間伐材を粉碎してウッドチップを作り出し、園路に敷き均したり、植栽苗木の足元に雑草抑制のためのマルチング材として敷き詰めるなどの有効活用を行った他、あまがさきグリーンフェスタなどの大規模イベントにおいて、来園者に自由にお持ち帰りいただくなど、資源の循環に取り組んだ。



（樹木粉碎機（ウッドチップパー））



（グリーンフェスタでの無料配布）



（ファミリーフェスタでの無料配布）

② マリーゴールドによる害虫駆除の取り組み

マリーゴールドは、畑や花壇の土にすき込むと土壌中の有害線虫を減らす効果があることから、花壇の植え替えで抜き取った株を市民の方々に利用方法を説明して配布し、農薬を用いない環境にやさしい害虫駆除方法を推奨した。



（花壇の植替えで抜き取ったマリーゴールド）

2 西武庫公園管理運営業務

(1) 西武庫公園の魅力向上の取り組み

本年度も西武庫公園の管理運営を継続して受託し、園内の自然を活用した緑化普及啓発や公園利用促進の取り組みを行った。

・西武庫公園での緑化普及啓発の取り組み

| 月 日 | 取組名称 | 参加者数 | 内 容 |
|--------|-------------|------|--------------------|
| 7月23日 | セミ羽化観察会（再掲） | 49名 | セミが羽化する神秘的な場面を観察 |
| 10月28日 | 多肉植物の寄せ植え体験 | 36名 | 多肉植物で寄せ植え作り（武庫まつり） |
| 11月19日 | 野鳥観察会 | 11名 | 西武庫公園で見られる身近な野鳥の観察 |
| 計 | 3回 | 96名 | |



（多肉植物の寄せ植え体験）



（野鳥観察会）

(2) ボランティアとの協働の取り組み

花づくりボランティア「西武庫公園フェアリーズ」との協働作業として、種から苗を育てて園内の花壇に植栽する取り組みを行った。

- ・登録人数 4名
- ・定例活動日 毎週土曜日

（上記以外にも日常的に作業を実施）

- ・活動内容 公園ボランティア「西武庫公園フェアリーズ」の方々と協働で、園内に設置してあるビニールハウスで花苗を生産し、公園内の花壇に植栽して管理を行った他、園内の施設の装飾なども手掛けるなど、公園の美化に努めた。



（花壇の植付作業）

(3) ネットワーク会議の事務局

西武庫公園を利用する団体等で構成する「西武庫公園ネットワーク会議」の事務局として、年3回の会議を開催し、各団体の活動報告やネットワーク会議が主催する公園での催し（冒険広場がやってきた！）の実施に向けた企画・調整等を行った。

また、子ども達が「自ら遊ぶ」体験の場をコンセプトに、各団体との協働で行うイベント「冒険広場がやってきた！」を11月23日に開催し、滑車すべり、マシュマロ焼き体験、むかし遊び、やきいも、ゴーカートによる交通教室などを行い、約600名の親子に楽しんでいただいた。



(ネットワーク会議の様子)



(冒険広場 (マシュマロ焼き))



(冒険広場 (ゴーカート))

(4) あまがさき健康ファームの取り組み

園内の分区園奥の未利用地を活用し、市の健康支援推進担当とタイアップしてスタートした、「あまがさき健康ファーム」の取り組みを引き続き実施した。この事業は、市の特定検診で物忘れチェックを受診された方を対象に、農作業による認知症予防を目的として農地を有償で提供するもので、併せて園芸相談員が年間10回の農作物栽培等の講習を実施する付加価値を加えて運営する貸農園。



(農園栽培講習会)

・農園栽培講習参加者数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 人数 | 5 | 5 | 2 | — | 5 | 5 | 4 | 3 | 3 | 5 | — | 3 | 40 |

(5) 園地の保護育成と施設の管理

老朽化し、枯れ枝が目立っていた園内のサクラを一斉に手入れすると共に、新たにサクラを2本植栽するなど、利用者の安全・安心につながる適正な公園管理に努めた。また、西武庫公園駐車場の管理運営業務を受託し、利用者の利便性向上に努めた。

・西武庫公園駐車場利用状況

| 開場日数 | 普通車入庫数 | 大型車入庫数 | 総入庫数 | 1日平均入庫数 |
|------|---------|--------|---------|---------|
| 366日 | 37,913台 | 15台 | 37,928台 | 103台 |

3 尼崎の森中央緑地運営管理業務

兵庫県園芸・公園協会、阪神園芸(株)との三者共同体での指定管理(5年間)の3年目にあたる当業務については、引き続き環境学習の各種プログラム実施や森づくり活動の支援、緑地及び施設の維持管理等を担当し、加えて各種集客イベントにおいても十分な協力体制を敷いて取り組むなど、緑地の美化と事業目的達成に努めた。本年度も高いハードルが設定されている来園者目標数(30万人)を達成するため、主催行事や持ち込みイベントの

誘致などの催しを多数計画し実施した。令和5年度の来園者数は281,430人で、これまでの最高であった令和4年度の290,110人からは減数となっているが、令和3年度の約27万人から現在まで安定した来園者数となっている。

また、市報への記事掲載や、各種ホームページ、SNSを活用した催し等のPR、緑の相談所をはじめとする各施設でのチラシ等の配布や掲示など、尼崎の森中央緑地の認知度を向上させるための各種情報発信にも注力した。

・魅力アップ事業（県市共同事業）の開催状況

| 事業名称 | 内 容 | 参加者数等 |
|----------------|----------------------|--------|
| 環境体験事業（県事業） | 県内の小学校児童を対象にした環境学習 | 1,725人 |
| 環境体験事業（尼森独自事業） | 幼稚園等上記以外の園児、生徒を対象 | 558人 |
| 環境体験プログラム1 | 季節ごとに異なる自然環境を楽しく学ぶ | 299人 |
| 環境体験プログラム2 | 一般来園者がいつでも気軽に体験 | 3,390人 |
| 環境体験プログラム3 | 自然に関するより詳しい知識を学ぶ | 133人 |
| 尼崎の森ファミリークラブ | 本市及び近隣市の小1を対象にした植樹 | 263人 |
| 昆虫採取イベント | 当緑地に生息する昆虫を捕獲し観察する | 1,000人 |
| 森の子育てひろば | 阪神間の親子が自然を体感する | 150人 |
| 環境学習サポーター養成講座 | 環境体験をサポートするボランティア養成 | 31人 |
| 生物多様性促進イベント | 森づくりを広くPRするイベント | 1,020人 |
| 自由提案イベント | 大芝生広場等を活用した大規模集客イベント | 4,300人 |



(環境体験事業)



(環境体験プログラム)



(尼崎の森ファミリークラブ)

・利用促進事業（県事業）の開催状況

| 事業名称 | 内 容 | 参加者数等 |
|-------------------|-----------------------|---------|
| 持込み企画誘致・サポート事業 | 大芝生広場でダンスや音楽イベントの誘致 | 2,400人 |
| 食のイベント推進プロジェクト | 阪神間の飲食店等による食がテーマのイベント | 16,500人 |
| 茅葺き民家活用プロジェクト | 民家や森を使って里山の暮らしを体験 | 1,276人 |
| ひょうごヘルシーパークプロジェクト | ウォーキングやヨガ等の健康づくり | 2,000人 |

| 事業名称 | 内 容 | 参加者数等 |
|------------------------|--------------------------|-----------|
| 運動会等開催サポート | 近隣企業等の運動会等の開催をサポート | 誘致活動を実施 |
| 子育て交流スペース設置・運営 | 子育て情報コーナーや交流スペース | 553 人 |
| 夏休み自由研究サポートプログラム | 緑地の自然素材を活かしたワークショップ | 147 人 |
| 乳幼児支援の展開 | 屋外スペース等を貸出、安心して遊べる場の提供 | 誘致活動を実施 |
| 森から学ぶ幼児教育プログラム | 親子で一緒に楽しめるプログラム | 289 人 |
| 森のお道具箱 | 間伐材等のクラフト材料を貸し出し | 481 人 |
| 元プロ野球選手から学ぶ3世代交流スポーツ教室 | キャッチボール教室など | 36 人 |
| 生物多様性あまもり戦略 2019 の推進 | 各活動・催しに当計画を組込み | 各活動にて実施 |
| 生物多様性普及啓発プロジェクト | 地域制苗の活用及び普及啓発 | 1,537 人 |
| ボランティア活動団体支援プロジェクト | 自治体や教育関係者に研修 | 57 人 |
| 森のセルフガイド推進プロジェクト | 指導者なしで学習・体験できるセルフガイド | 517 人 |
| 郷土種グリーンフェスタ | 郷土種を使った体験プログラム | 2,400 人 |
| 尼森防災プロジェクト | 県・市と連携した防災イベントや訓練 | 4,800 人 |
| 安心安全プロジェクト | 危機管理マニュアルに基づく避難訓練など | AED 訓練等実施 |
| みんなにやさしい公園づくりプロジェクト | HP に園内バリアフリーの掲載や園内看板の整備 | 各所にて実施 |
| アクセス向上社会実験プロジェクト | バスや自転車でアクセス向上の社会実験 | シャトルバス運行 |
| 会議室セットプランサービス | 環境学習教材とセットで会議室を提供 | 0 人 |
| あまもりフェノロジーカレンダー | 公園の草花等のカレンダー等を作成 | ポスター等掲示 |
| 1000ha 連携プロジェクト | 1000ha エリア内の企業、運河関係団体と連携 | 286 人 |
| 学生との連携プロジェクト | 近隣の大学との連携による緑地の活性化 | 230 人 |
| 森の会議発案企画サポート | オリジナルの競技を楽しむ運動会など | 150 人 |
| 森の文化祭 | 近隣地域へのPRを目的にしたイベント | 4,800 人 |
| 夜の公園活用プログラム | 星空観望会など | 283 人 |
| DYI 技術向上プログラム | 各ボランティア園内整備の技術向上 | 29 人 |
| 尼崎の森中央緑地ガイドツアー | 職員と緑地内を巡るガイドツアー | 458 人 |
| 公園活用プロジェクト | 通常禁止されている公園利用をイベントとして行う | 400 人 |
| インスタ映えスポット紹介・写真コンテスト | 写真コンテストの開催など | 写真スポットを設置 |
| 親子で運動を楽しむプログラム | 大芝生広場などでスポーツプログラム | 2,000 人 |
| 新たな公園の管理運営について | 公園内での「ひょうごスタイル」推進など | 適宜実施 |



(食のイベント推進プロジェクト)



(3世代交流スポーツ教室)



(夜の公園活用プロジェクト)

4 緑地・緑道等の保護育成業務



会社から移管された当業務では、市内の公園や緑地緑道、街園、植樹帯など404カ所の樹木剪定、生垣剪定、芝刈、除草等の維持管理を持ち前の機動力を活かして適切に実施するとともに、公益目的事業として潮江公園でのバラ散策会などの緑化啓発事業を実施し、緑に親しむ人のすそ野の拡大に取り組んだ。

・管理対象

| | |
|----------|-------|
| 公園・子ども広場 | 240カ所 |
| 緑地緑道 | 56カ所 |
| 街園・植樹帯 | 108カ所 |
| 計 | 404カ所 |

・緑地緑道での緑化普及啓発の取り組み

| 月 日 | 場 所 | 取組名称 | 参加者数 | 内 容 |
|--------|-------|----------------|------|-------------------------|
| 5月21日 | 潮江公園 | 季節の花散策～バラ～（2回） | 21名 | 見ごろのバラをガイド付きで見学 |
| 12月13日 | 北雁替公園 | チューリップ運動球根植付 | 7名 | 市民との協働でチューリップの球根400球を植付 |



（潮江バラ散策会）



（北雁替チューリップ球根植付け）

5 尼崎市との災害協定に基づく倒木処理業務

尼崎市との間で令和5年4月1日付で締結した「災害等における応急対策業務に関する協定」に基づいて、台風7号により発生した街路樹や公園樹の倒木処理を行い、災害発生時における公園等の安全確保に取り組んだ。

この台風は、明石市付近に上陸して北上する兵庫県直撃のコースをたどったことから、勢力がそれほど強くなかったにもかかわらず多数の倒木が発生したため、作業体制を整えて10公園の倒木処理を行った。

| | |
|--------------------|---|
| 自主対応公園（3カ所） | 上坂部西公園、元浜緑地、近松公園 |
| 市からの要請に基づく公園等（7カ所） | 穴太公園、今福公園、富田公園、旧昆陽川緑地、浜田公園、久々知南公園、新幹線側道 |



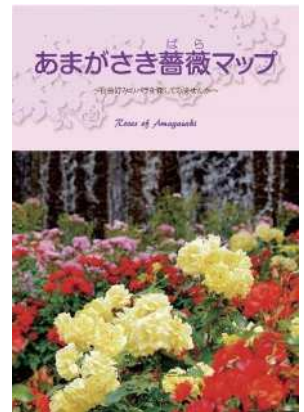
（倒木処理の様子）

6 あまがさき薔薇マップ制作業務



昨年度のサクラを特集し好評いただいた「あまがさき桜マップ」に続いて、今年度はバラに着目し、職員がプロジェクトチームを結成して、写真撮影から紙面の構成まで、約1年がかりで全て手づくりで作成したリーフレット「あまがさき薔薇（ばら）マップ～自分好みのバラを探してみませんか～」を3,000部作成した。

市内7カ所のバラ園を紹介したこのリーフレットは、A4サイズ16ページのフルカラーで、各バラ園の見どころや協会職員の「オススメポイント」の他、尼崎のオリジナルローズ「ローズアマガサキ2016」の紹介やバラの年間管理の方法など盛りだくさんの内容となっている。



7 ファミリーフェスタの開催

秋の恒例行事として継続して実施している「ファミリーフェスタ」を尼崎の森中央緑地で開催した。この催しは、広大な大芝生広場を会場として、当緑地を共同で管理している県園芸・公園協会が主催する「郷土種グリーンフェスタ」との2催事合同での取り組みで、郷土の野草の寄せ植えや、ステージイベント等で多数の家族連れが訪れる中、当協会が執り行うファミリーフェスタでは、ゴーカートや子ども達の各種遊びのコーナーを提供して来園者を招き、秋の休日を楽しんでいただいた。

- ・開催日 10月8日（日）
- ・場所 尼崎の森中央緑地・大芝生広場
- ・参加者数 約2,400人（2つの催事のトータル数）
- ・内容 ゴーカートで遊ぼう、竹馬や竹コッポリなどの昔あそび体験 等



（ゴーカートで遊ぼう）



（昔あそび体験）



（どんぐり笛作り）

8 尼崎市民農園の運営管理

本年度も農園主から市民農園の管理業務を受託して実施した。市農政課から農園管理を引き継ぎ、協会独自事業として農園の巡回点検や利用指導の他、年10回の市民農園教室開催などに取り組んだ。

・各年度の管理農園及び区画の増加数

| 年度 | 管理農園数 | 管理区画数 | 農園増減数 | 区画増減数 |
|-------|-------|-------|-----------|----------------|
| H25年度 | 4 | 312 | +4(+4/0) | +312(+312/0) |
| H26年度 | 8 | 498 | +4(+4/0) | +186(+186/0) |
| H27年度 | 12 | 747 | +4(+4/0) | +249(+249/0) |
| H28年度 | 16 | 887 | +4(+4/0) | +140(+140/0) |
| H29年度 | 17 | 914 | +1(+1/0) | +27(+27/0) |
| H30年度 | 17 | 911 | 0(0/0) | -3(0/-3) |
| R元年度 | 18 | 964 | +1(+1/0) | +53(+90/-37) |
| R2年度 | 19 | 997 | +1(+2/-1) | +33(+40/-7) |
| R3年度 | 19 | 994 | 0(0/0) | -3(0/-3) |
| R4年度 | 19 | 907 | 0(+1/-1) | -87(+15/-102) |
| R5年度 | 18 | 794 | -1(0/-1) | -113(+46/-159) |

・農園教室の開催状況（概ね農園ごとに開催）

| 月 | 開催日 | 開催回数 | テーマ | 参加者数 |
|-----|-----------------|------|--------------------|--------|
| 4月 | 13, 18, 21, 28日 | 18回 | 夏野菜の初期管理 | 130名 |
| 5月 | 15, 23, 25日 | 13回 | 初夏の栽培管理 | 69名 |
| 6月 | 14, 19, 23, 27日 | 18回 | 暑い時期の野菜管理 | 100名 |
| 7月 | 27, 28日 | 4回 | 秋野菜の準備 とタマネギのセット栽培 | 40名 |
| 9月 | 14, 15, 21, 25日 | 18回 | 秋冬野菜の種まきと植付け | 73名 |
| 10月 | 13, 17, 26, 27日 | 18回 | タマネギ、エンドウなどの植え付け | 92名 |
| 11月 | 13, 16, 20, 24日 | 18回 | 秋冬野菜の栽培管理 | 72名 |
| 12月 | 11, 12, 18, 22日 | 18回 | 冬の栽培管理ポイント | 56名 |
| 1月 | 30, 31日 | 4回 | 野菜づくりの基本 | 36名 |
| 3月 | 15, 18, 21日 | 13回 | 春夏野菜の準備 | 47名 |
| 合計 | | 142回 | | 計 715名 |



(農園教室の様子)

II 公益2事業〔定款事業(2)〕

(市民ボランティアグループ及び市民運動として展開している花のまちづくりの協働推進事業)

1 花と緑のまちづくり推進事業

(1) 街なみ街かど花づくり運動業務

本年度も引き続き市民ボランティアの花の世話役さんで組織する「尼崎花のまち委員会」の事務局を務め、市民自らの手で花を育てて街を飾ることにより、美しい街なみ景観の向上を図る「街なみ街かど花づくり運動」を推進した。



(圃場での種まき)



(総会の様子)

・ガーデニング教室の開催状況

| 講習会名/月日 | 6/6 | 7/4 | 9/5 | 10/17 | 11/7 | 12/5 | 修了レポート | 修了者 |
|-----------------|-----|-----|-----|-------|------|------|--------|-----|
| 花のガーデニング教室基礎コース | 6名 | 10名 | 6名 | 5名 | 6名 | 4名 | 4名 | 4名 |

| 講習会名/月日 | 6/5 | 6/19 | 7/3 | 9/4 | 11/13 | 12/4 | 修了レポート | 修了者 |
|-----------------|-----|------|-----|-----|-------|------|--------|-----|
| 花のガーデニング教室応用コース | 3名 | 3名 | 4名 | 3名 | 3名 | 2名 | 2名 | 2名 |

・会員数（令和5年度末現在）

| ボランティア区分 | グループ数 | 人数 |
|--------------------------|---------|------|
| 花の世話役さん(市民ボランティア) | 118グループ | 485名 |
| 公共施設の花づくり(市・団体職員等ボランティア) | 53グループ | 158名 |
| 合計 | 171グループ | 643名 |

※ 市民ボランティアの個人会員 19名を含む

(2) 花のまちあまがさきチューリップ運動業務

① チューリップ運動の推進

子どもからお年寄りまで幅広く親しまれているチューリップを、市民・事業者・行政が協働で身近な場所に咲かせることにより、「花のまち尼崎」のイメージを内外に発信することを目的に市民運動として取組まれているチューリップ運動の事務局を、本年度も引き続き務め、運動の推進に鋭意取り組んだ。

球根の仕入れ単価が大幅に値上がりしたことにより、販売価格を上げざるを得なくなったが、市民まつりや農業祭などでの販売や、昨年度に引き続き「百合咲き」や「八重咲き」「フリンジ咲き」などの変わり咲きチューリップの割合を大幅に増やして、目新しさを出す工夫をしたことなどにより、普及総数はおよそ8万6千球と前年よりは減少したものの、減少幅を最小にとどめた。また、企業・団体からの寄付を活用して駅前等を彩る市民大型花壇では、寄付者や市民ボランティアなどと協働での植え付けを行い、春のチューリップ開花を維持した。



(JR 尼崎駅北緑道での植付け)



(市民まつりでの球根販売)



(JR 尼崎駅南ロータリーの開花状況)

Ⅲ 公益3事業【定款事業(3)】

(尼崎市緑化基金を活用した緑の保全及び緑化催事開催による普及啓発事業)

1 あまがさきグリーンフェスタ2023の開催

新

春の恒例行事である「春の花と緑のフェスティバル」は、これまでの販わい創出型のイベントから、市民が緑化に興味を持ってもらい、関わってもらい、実践してもらおうきっかけづくりに重点を置いた「体験・参加型のイベント」へとコンセプトを変更し、名称も「あまがさきグリーンフェスタ2023」に改めて開催した。当日は、子育て世代を対象とした寄せ植え教室や公園内の樹木ラリーなどの講座（みどりの学校）、兵庫県立人と自然の博物館の移動博物館車「ゆめはく号」での植物の化石や昆虫の展示など、子育て世代の緑や自然とのふれあいに寄与する内容を中心に開催した他、多くの緑化関連団体に出店等をご協力いただき、約4,500人の来園があった。

また当日は、“2022フラワーガーデニングコンテスト”の表彰式を行い、「家庭緑化」、「コミュニティ緑化」、「学校緑化」の各部門において受賞された方々に松本眞尼崎市長と当協会森山理事長から表彰状と記念品を贈った。



(フラワーガーデニングコンテスト表彰式)



(ゆめはく号の展示)



(木っ端で鯉のぼり作り)

2 屋外展示会共催事業（尼崎城址公園多目的広場内）



伝統園芸の深みと趣きのある作品を紹介して愛好家を楽しんでいただくとともに、関心を持つ人のすそ野を広げていくために毎年開催しているさつき展と菊花展については、これまでの開催場所である阪神尼崎駅前の中央公園芝生広場が新たな指定管理者による管理となり、その利用形態が開放型の広場へと変わったことから、令和5年度は新たに尼崎城址公園の多目的広場において開催した。

| 名 称 | 開催期間 | 日数 | 内 容 | 入場者数 | 場 所 |
|-------|-------------|-----|------------------------|---------|------|
| さつき展 | 5/20～5/28 | 9日 | 皐月盆栽など約 100 鉢を出品展示 | 1,002 人 | 城址公園 |
| 菊 花 展 | 10/29～11/11 | 14日 | 大菊 3 本立てなど約 250 点を出品展示 | 2,448 人 | 城址公園 |



（さつき展）



（菊花展）

3 民有地緑化推進事業

(1) 生垣等設置助成事業

緑視率を高めることによるまちなみ景観の美化と防災効果のため、ブロック塀を生垣に作り替えたり、生垣を新設する経費の一部を助成する事業で、本年度は1件の助成を行った。

- ・ 助成対象…公道(公道と公道を結ぶ、幅員 2.7m以上の私道を含む。)に面し、緑化の延長が概ね 3m以上のもの
0.5m以上の高さの樹木を 1m当たり 3 本以上植栽
設置後 5 年以上活用できるもの
- ・ 実 績 1 件
- ・ 延長距離 5.6m
- ・ 助成額 41,720 円

(2) 保護樹木等の助成事業

尼崎市が指定した保護樹木等（単木 63 本・樹林 47 箇所）の保護養生に要する経費を所有者等に助成する事業で、本年度は 4 件の助成を行った。

- 指定基準…単木：地上高 1.5m での幹周 1m 以上、樹高 10m 以上

樹林：保護樹木を含む面積が 300 m² 以上

| 種類/地区 | 中 央 | 小 田 | 大 庄 | 立 花 | 武 庫 | 園 田 | 計 |
|-------|------------------------------|---------------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 樹 木 | 6 本 | 1 7 本 | 6 本 | 7 本 | 1 0 本 | 1 7 本 | 6 3 本 |
| 樹 林 | 3 カ所 9,920 m ² | 1 1 カ所 15,155 m ² | 2 カ所 6,879 m ² | 8 カ所 16,629 m ² | 1 1 カ所 12,382 m ² | 1 2 カ所 20,563 m ² | 4 7 カ所 81,528 m ² |

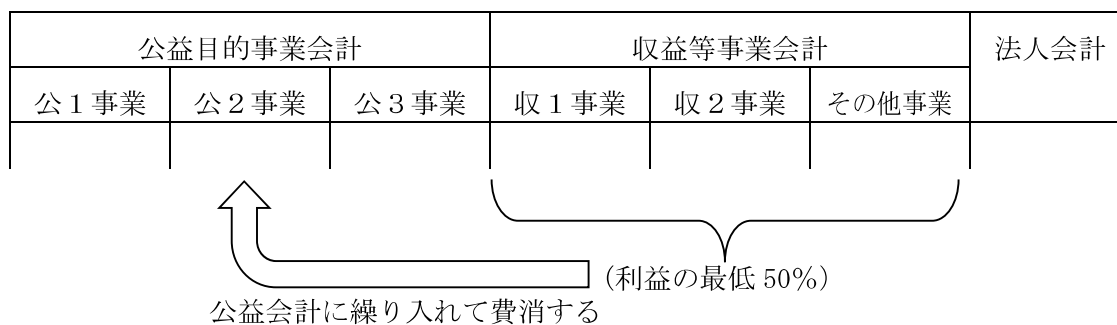
- 本年度助成内容 剪定 4 件
- 助成額 996,000 円

◆ 収益等事業

* 統合後の収益事業の意義

公益法人認定法施行規則では、公益法人が収益事業等を行う場合、収益事業等から生じた利益の 50% は公益目的事業会計に繰り入れ、公益のために使用することが義務付けられている。

これは、収益事業の規模が格段に大きくなった統合後の当協会において、法人内部で公益目的事業の充実を図るための財源を捻出する仕組みができたことを意味し、画期的な統合効果となった。



I 収益1事業 【定款事業(4)】

1 花・植木等販売事業

緑の相談所での園芸相談や市民農園での栽培教室実施時などに、作業に必要な薬剤や肥料等を助言・指導を交えて行うコンサルティング販売をしたほか、「花のまちあまがさきチューリップ運動」の一環としてのチューリップ球根販売など、市民運動や環境緑化の取り組みに寄与する事業を行った。また、クリスマスの時期にシクラメンやポインセチアを販売するなど例年人気の高い植物をピックアップしての販売事業も実施した。更に、学校等への年 2 回の通信販売「春季及び秋季の特別販売」や、学校行事の装飾等で使用する鉢花等の注文販売を本年度も引き続き実施し、売上げの増加と自主財源の確保に努めた。

(1) コンサルティング販売（緑の相談所・市民農園等）

・売上 314,310 円

(2) チューリップ運動球根の販売

① 窓口販売（緑の相談所、本庁舎、生涯学習プラザ等）

・売上 1,450,490 円

② 受注販売

・売上 337,940 円

③ 催事販売

| 販売名称 | 期 間 | 場 所 | 売 上 |
|---------|-------|----------|-----------|
| 園田カーニバル | 9/24 | 園田競馬場 | 39,570 円 |
| 大庄まつり | 9/24 | ボートレース尼崎 | 51,880 円 |
| 市民まつり | 10/1 | 市役所周辺 | 195,280 円 |
| 武庫まつり | 10/28 | 西武庫公園 | 32,750 円 |
| 農業祭 | 11/5 | 橘公園 | 102,710 円 |
| 冬の味覚祭り | 12/3 | 地方卸売市場 | 34,150 円 |
| 森のクリスマス | 12/10 | 尼崎の森中央緑地 | 18,180 円 |

(3) その他の受注販売

- ・期間 年間を通じて随時受け付け
- ・内容 花苗、野菜苗、鉢花、種子、用土、肥料などの注文販売
- ・対象 学校、公共施設、賛助会員等
- ・件数 3 件
- ・売上 38,060 円

(4) 通信販売

① 春季特別販売

- ・期間 4月1日～4月19日
- ・内容 トマト、ナス等夏野菜と花苗、用土、肥料の販売
- ・対象 学校など
- ・件数 46 件
- ・売上 1,318,768 円

② 秋季特別販売（冬・春花壇用花苗等含む）

- ・期間 8月21日～9月14日
- ・内容 パンジーなどの花苗や用土、肥料と秋植え球根等の販売
- ・対象 賛助会員、学校、花いっぱい会など
- ・件数 花苗及び資材 47 件 球根 39 件
- ・売上 1,729,933 円

II 収益2事業〔定款事業(4)〕

1 道路植樹帯等の保護育成業務

市内一円の道路植樹帯等192路線の樹木剪定、芝生管理、清掃、除草、花壇管理等の業務を尼崎市から受託し、会社時代からの強みである機動力を駆使して適正かつ効率的に維持管理を行い、街の美化と協会の収益確保に努めた。



(道路植樹帯の剪定業務)

2 民間団体等からの受託業務

企業や工場、集合住宅及び個人邸などの剪定、除草、病虫害防除などの業務を多数請け負い、リーズナブルで良質な維持管理により顧客満足度向上に努め、リピーターを確保して自主財源の増加を図った。



(市営住宅の剪定作業)

- ・取引先 (株)東急コミュニティー、日本管財(株)
(株)ウォーターエージェンシー、日油(株) 等 191件
- ・売上 64,711,377円

II その他1事業〔定款事業(4)〕

1 オリジナルカレンダーの制作



毎年、テーマを決めて制作しているオリジナルカレンダーは、緑化普及啓発事業をテーマに、当協会が行うイベントや講習会、展示会などの他、市民ボランティア団体や緑化協力団体の活動などを写真と説明文章で紹介する内容で作成し、広く市民等に無償配布した。



(カレンダー)

- ・作成仕様 A4版中綴じ(開くとA3)14枚綴りフルカラー
- ・作成部数 2,000部

2 賛助会員の確保

当協会の緑化普及活動の趣旨に賛同し、緑あふれるまちづくりに協力いただく会員の確保に取り組み、緑化普及啓発の輪の拡大に努めた。

- ・過去5年間の会員数

| 年度 | 会員数 | 口数 |
|-------|------|------|
| 令和元年度 | 147件 | 264口 |
| 令和2年度 | 148件 | 266口 |
| 令和3年度 | 134件 | 238口 |
| 令和4年度 | 144件 | 266口 |
| 令和5年度 | 141件 | 253口 |

3 県民まちなみ緑化事業等申請窓口業務

兵庫県が「緑」の保全、再生を目的として導入した「県民緑税」を活用して実施している「県民まちなみ緑化事業」や阪神北県民局が実施する「緑化資材の提供事業」などの各種緑化事業の申請窓口業務を受託し、広報や申請の受付指導、文書審査、委託者への進達などを行った。

| 事業名称 | 内 容 | 取扱件数 |
|------------|-------------------------|------|
| 緑化資材の提供事業 | 緑化活動グループ(自治会等)への緑化資材の提供 | 9 件 |
| 県民まちなみ緑化事業 | 屋上や壁面緑化、校園庭芝生化等緑化事業費の補助 | 5 件 |

4 緑化協力団体の育成事業

伝統園芸の保護・継承や、草花等によるまちの美化など、緑化の普及啓発に携わっている団体の活動援助、会員確保・増加の取り組みのサポートのほか、展示会開催にあたり支援するなど、指導、育成と連携を図った。

・緑化協力団体等関連団体一覧

| 団 体 名 | | |
|-------------------|---------------------|-------------|
| 尼 崎 市 菊 花 協 会 | 尼 崎 洋 ラ ン 会 | 尼 崎 皐 月 協 会 |
| 尼 崎 小 品 盆 栽 山 草 会 | 尼 崎 市 花 い っ ぱ い の 会 | |



(尼崎小品盆栽山草会による展示)



(尼崎洋ラン会による展示)

5 緑の募金の実施

(公社)兵庫県緑化推進協会が実施する「緑の募金」を、募金箱の設置や幼稚園、小、中、高等学校、事業所、市民及び市職員等を対象に募り、募金された方には緑の羽根を配付した。

なお、緑の募金については緑化推進協会が実施する「森と緑のふれあい支援事業」の原資として様々な緑化普及事業に活用されている。

・緑の募金額 17,934 円

6 職員のスキルアップ・能力開発

本年度は、機械作業初心者や経験の浅い職員に対する安全教育を増員して受講させ、作業者の労働災害防止に努めた他、公園利用者の遊具での事故を防止するため、日本公園施設業協会が主催する「遊具の日常点検講習」にも職員を参加させた。

また、植物学者牧野富太郎にまつわる行事を開催するため、高知県立牧野植物園等へ職員を派遣し、視察と植物や資料の収集にあたらせた。

更には、性の多様性に関する勉強会「ALL Y研修」を職場ごとに実施し、今日的な社会課題に対する認識を深めるなど、幅広く職員の資質向上に努めた。

・受講した研修等一覧

| 研修区分 | 月 日 | 研修先又は研修内容 | 参加者数 |
|---------|----------------------|---------------------------|------|
| 連絡会議 | 2月8日 | 兵庫県緑の相談所連絡会議（明石市立花と緑の学習園） | 2名 |
| 他都市視察等 | 6月1日 ～2日 | 高知県立牧野植物園他 資料・植物等収集 | 1名 |
| 講座・セミナー | 5月16日 ～18日 他2回 | チェーンソーによる伐木等特別教育 | 8名 |
| | 5月29日 ～31日 | 日本植物園協会第58回大会（高知県） | 2名 |
| | 8月6日 他3回 | 刈払機取扱作業安全衛生教育 | 12名 |
| | 10月1日 ～3日 | 植物園協会技術者講習会（筑波実験植物園） | 1名 |
| | 10月6日 | 健康経営セミナー | 1名 |
| | 10月18日 | 遊具の日常点検講習 | 2名 |
| | 10月26日 | 公正採用選考人権啓発推進員研修会 | 1名 |
| | 3月3日 | 地域自然史と保全研究大会シンポジウム | 1名 |
| 内部研修等 | 7月3日 他2回 | ALL Y研修（LGBTQ研修） | 22名 |
| | 11月17日 | 労働安全管理研修 | 約60名 |
| | 3月8日 | 職員健康管理研修 | 約60名 |

Ⅲ 理事会、評議員会の開催

理事会・評議員会を定期的を開催し、事業計画・予算、事業報告・決算などの重要事項を審議・承認いただいた。

また、任期途中で役員等を変更する場合は、評議員会を招集することなく、決議の省略によるみなし開催での選任手続きを行った。

・理事会、評議員会の開催実績

| 会議名称 | 開催日 | 場所 | 議案等 |
|------------------------------|----------|----------|----------------------------|
| 第1回臨時評議員会 (決議の省略によるみなし開催) | 5月9日(火) | — | 評議員の選任 |
| 第1回理事会 | 6月9日(金) | 本部事務所会議室 | 4年度事業報告・決算他 |
| 定時評議員会 | 6月28日(水) | 本部事務所会議室 | 4年度事業報告・決算 役員及び評議員の選任 他 |
| 第2回臨時評議員会 (決議の省略によるみなし開催) | 3月25日(月) | — | 評議員の選任 |
| 第3回理事会 | 3月27日(水) | 本部事務所会議室 | 6年度事業計画・予算 常務理事の選定 他 |

